

平成 20 年 2 月 12 日


新日本フィルの演奏家による課外授業！！

～ 子どもたちの創造力は無限 楽器に楽しみ 大興奮 ～

区立高松小学校（校長：永瀬 隆行）に、新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏家ら 3 名が訪れ、課外授業を行なった。

この授業は、「子どもたちと芸術家が出あう街 2008」（東京都主催、豊島区後援）の一環で、多様なジャンルの芸術家が、ワークショップやアウトリーチ活動などを通して、将来の芸術文化の担い手としての子どもたちに芸術文化を身近に体験してもらうための企画の一つ。

新日本フィルハーモニー交響楽団から、打楽器奏者の小島光氏、山田徹氏の 2 人が先生役に来校した。学校にある楽器を使い、児童らに楽しく、わかりやすい音楽とふれあう授業を行なった。

日 時	平成 20 年 2 月 12 日（水）午前 10 時 45 分～12 時 20 分
場 所	区立高松小学校（高松 2-57-22）
当日の様子 参加者の声 など	<p>12 日（火）の 3、4 時間目、5 年生 2 クラス 70 名が参加して行なわれた。公開授業のため、PTA、保護者らも約 30 名参加。</p> <p>小島、山田氏 2 人の演奏家が学校にある打楽器を使い、楽器本来の正しい音を理解してもらおうと、各楽器を演奏して紹介した。中でもマラカス、クラベス、アゴボなど世界の楽器の名称や由来の話に、児童らは感心した様子。また、メンバー自身が作曲した曲にあわせて、タンバリンとカスタネットの演奏や演奏家が競馬の騎手、ボクサーに扮し、あわせて楽器で効果音を演奏するという音楽形態表現には児童らから「うわーすごい、面白い音がする」などの笑いや驚きの声があがった。</p> <p>学校にある楽器の持つ本来の音や仕組みに耳と目で触れて、児童らはますます音楽に興味を持ったようで、とても有意義な課外授業であった。</p>
補 足	<p>「子どもたちと芸術家が出あう街 2008」オーケストラ演奏会 開催日時：3 月 1 日（土）午後 3 時～ 場所：東京芸術劇場大ホール 出演：指揮／梅田俊明、お話と歌／田辺とおる、管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団 詳細：子どもたちと芸術家が出あう街 2008 www.njp.or.jp/kodomo/</p>
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	
問 合 せ	高松小学校